

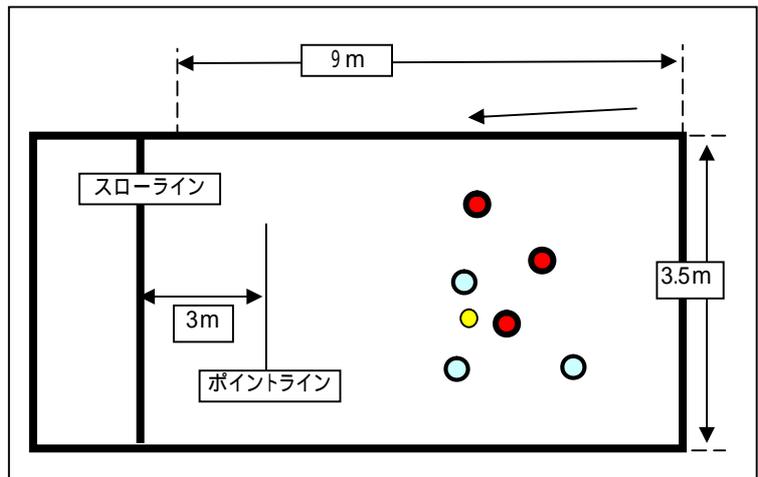
ディスコン

特徴

岡山県立少年自然の家の職員、松山武雄氏により考案されたスポーツ。
赤チーム・青チームに分かれて、直径12cmのディスク(円盤)をポイント(黄色の円盤)に向けて投げあい、いかに近づけるかを競う競技で、ペタンクに似たスポーツです。
ディスクは、表が赤、裏が青となっており、投げたディスクが裏返ると相手の得点となるので、自滅による逆転もあるなど、ゲーム性も豊かです。
いつでも、どこでも、誰でもに加えて「すぐに」を加えたニュースポーツで、子供からお年寄り、初心者でもすぐに楽しめるスポーツです。

コート大きさや使用する道具

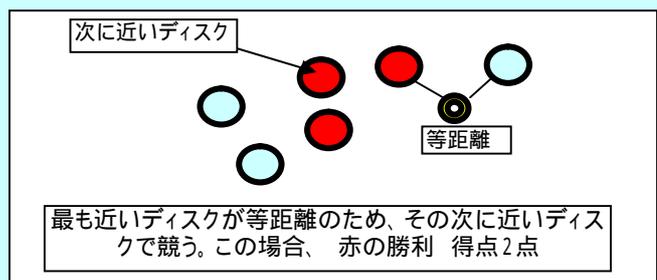
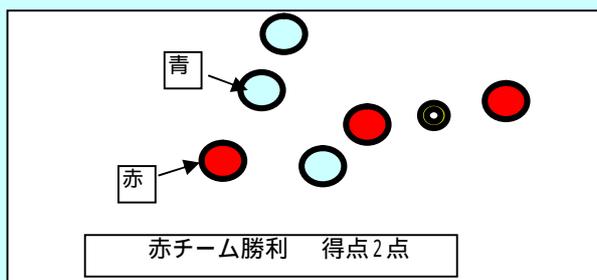
ディスク: 直径12cm円盤(表裏異色青・赤)
発砲プラスチック製
ポイント: 直径6cm円盤(黄色)
コート: 3.5m x 9m



ルール・競技規則など

競技は、じゃんけんでは赤・青のチームを決めます。勝った方が赤チームとなります。
ディスクは6枚ずつですので、シングルスから団体(6人チーム)戦までできます。
赤チームが、ポイント(黄色ディスク)を3m以上投げてゲームスタートとなり、その後赤チームのディスクをポイントに向けて投げます。(このとき、ラインから出た場合や裏返って青になった場合などは、赤のディスクがコート内に残るまで投げます。)
次に青チームが投げ、以後はポイントに遠いチームが投げ続けます。
どちらかのチームが、全てのディスクを投げ終わったら、相手チームは、残りのディスクを投げてでも投げなくてもかまいません。(残りのディスクを投げることにより、追加得点を狙うこともできますが、裏返ると相手の得点となり、逆転する場合があります。)これで、1イニングが終了となります。
1イニングが終了後、ポイントに最も近いチームの勝利となり、相手チームのポイントに一番近いディスクの内側に何枚ディスクがあるかによって得点が決まります。(下記の得点例参照)
次のイニングは負けたチームが先攻となってゲームを進め、先に11点獲得したチームの勝利となります。(時間制限や得点を別に定めてもかまいません。)
一度投げたディスクは、投げなおしはできません。ラインから出たものは無効ですが、ラインにかかっているものは有効です。
投げたディスクが裏返った場合は、相手のものとなります。

得点例



詳しい内容を知りたい場合 (社)日本ディスコン協会

ホームページ: <http://www.ric.hi-ho.ne.jp/accordion/DISCON/index.htm>